### 令和 5 年度

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	0495400707			
法人名	株式会社ナラティブ			
事業所名	グループホームはるかの杜 ユニット名:すずな			
所在地	仙台市太白区向山二丁目13番8号			
自己評価作成日	令和 6 年 3 月 7 日			

### ※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 <a href="http://www.kaigokensaku.jp/">http://www.kaigokensaku.jp/</a>

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

	評価機関名	NPO法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会					
	所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウェル仙台ビル2階					
訪問調査日 令和 6 年 3 月 25 日							

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「らしく生きる それぞれのLIFE」を事業所目標に掲げ、お一人おひとりの想いや声を大切にし、やりたいことや希望の実現のために対話を繰り返しながら、関係性の構築に努めております。また、これまでの生活習慣や、お好きなことに着目して、ホームに入居したからできなくなったということがないように、生活の中で楽しみを感じて頂けるよう、ご本人、ご家族のご意向を大切にしております。現在は面会制限は解除となり、定期的に面会に来られるご家族も多くいらっしゃいます。面会以外でも定期的に電話や毎月の手紙等でも近況の報告もさせて頂き、その中でご家族との繋がりも大切にさせて頂いております。

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは向山の住宅地にあり、近くの向山小学校が災害時の避難場所となっている。清山会グループに属し設立8年目を迎える。入居時に得た個々の特性に捕らわれず、一人ひとりの特技を見つけ「その人らしくを大切」にしている。入居者と職員が出来る事を協力し合っている。日常生活では洗濯物畳みや食器洗いを進んで行ったり、いつの間にか歌のレクリエーションに積極的に参加する等、職員が雰囲気作りを工夫している。訪問診療の細やかな対応や訪問看護師の週3日の来訪が、医療や体調面の安心に繋がっている。看取り期は、家族付添いの支援を行い「よくして貰った」と感謝の言葉が寄せられている。

٧.	7. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印		項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 〇 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と O 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある O 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 〇 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 〇 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで身体や精神の 状態に応じて満足出来る生活を送っている。 (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが O 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、やりがいと責任を持って働けている。 (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が     ○ 2. 職員の2/3くらいが     3. 職員の1/3くらいが     4. ほとんどいない
60	利用者の意思を出来る限り尊重し、外出等の支援をする努力をしている。 (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、医療機関との連携や、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにお おむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が O 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが			

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

0

はるかの杜

# 2.自己評価および外部評価結果(詳細)(事業所名 グループホームはるかの杜)「ユニット名 すずな 」

自	外	項目	自己評価	外部評価	<b>5</b>
己	部	1	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
		<b>-基づく運営</b> ○理念の共有と実践	法人の理念、社是を念頭に置き、日々従事して	ミーティングで振り返りを行い、法人理念と	
		地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	います。法人の理念、社是に基づく事業所目標	ホーム埋念は継続する事とした。ユニット目標「1日1回利用者と笑う」と「One for all All for one」と決め、ホールに掲示している。	
2	\-/	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	包括支援センターの方々とは2ヵ月に1回の 運営推進会議などを通じて交流を図ってお ります。近隣への散歩や買い物を通じて、	地域の防災訓練参加やゴミ置き場の鍵を預かり、回収日の管理や清掃で地域との関わりを図っている。ホームの夏祭りに、町内会長や雀踊りのボランティアが訪れた。高校の吹奏楽定期演奏会や地域包括主催の「すずめカフェ」の案内がある。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向け て活かしている	事業所の様子を定期的に町内会長さんや 地域包括にお伝えする中で、認知症の人の 理解や支援方法をお伝えしております。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	2か月に1回の運営推進会議にて町内会長さんや包括支援センターに事業所の様子をお伝えしております。		
5		えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	適宜、事業所の様子や活動を包括支援セン ターにお伝えしております。必要時は協力	介護保険の区分変更や事故報告、生活保護 の方の状況報告等で連絡を取っている。研 修等の案内がファックスで届く。地域包括発 行の「包括便り」が届き、活動内容の把握に 役立っている。	
6		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	の勉強会を行っています。また、安易に施 錠をしないようにドアチャイムを設置するな	3ヵ月毎に「身体拘束廃止委員会」を開催し、 職員から提出されたグレーゾーンカードの集 計を行っている。原因や対策を話し合い、 個々に合った声掛けやケアの共有に努めて いる。オンライン研修を利用し、個々にレポー ト提出に取り組んでいる。	
7	(6)	〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について 学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での 虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、 防止に努めている	行っています。また、虐待まではいかない 「不適切ケア」についても振り返りの機会を 設けるなど、法人の取り組みを事業所の勉	言葉遣いで、スピーチロックや強い口調にならないように気を付けている。管理者やリーダーは、普段からコミュニケーションを大切にし、悩みや困った事などが話しやすい雰囲気作りを心掛けている。	

ほる	るかの	)杜			2024/12/18
自	外	項目	自己評価	外部評価	<b>T</b>
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	事業所内の勉強会にて成年後見制度について学ぶ機会を設けています。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	入居前に契約内容、重要事項を一緒に読み合わせし、その都度出た疑問に答え、不安なく入居していただいています。また、説明後にも疑問や不安に応えるようにしています。		
10		〇運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	来所時に入居者の日々の様子をお伝えするとともに、ご要望やご意見を伺う機会を設けており、いただいたご意見に対しては、スタッフ皆で改善したり、共有を図っています。また玄関に意見箱を設置し、いつでも投書できるようになっています。	室担当者を中心に行って、話しやすい関係 構築に努めている。家族が高齢で来訪出来 ない方の自宅に出向き、今後の通院の話し 合いを行った事もある。	
11	(8)	〇運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	年に2回個人面談を実施しています。また法人全体で実施するメンタルヘルスアンケートや仕事と職場のアンケートを通じて、なかなか言えない意見や希望を拾い上げる機会を設けています。	り、息見で個みを聞いている。資格取得は、意向調査を行い法人で費用負担等の支援を	
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	チャレンジ制度を法人として設け、自ら取り 組んでいける仕組みがあります。また、職場 のアンケートを通じてスタッフの意見を反映 できるように努めています。		
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	法人内の研修への参加や法人外の研修に関しては、スタッフの希望、能力に応じて自由に参加できるようにしています。また1年目、2年目とフォローアップ研修があり、スタッフからの意見を聞く機会もあります。		
14	(9)	〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	加し、同業者やそれ以外の職種の方の意見を聞く機会があります。また内部研修を通	清山会グループの研修に参加し情報交換を 行っている。認知症リーダー研修の学びは、 ホームのケース検討会議に役立っている。 薬剤師に服薬の相談をして、飲み込みにくい 薬を粉砕して貰う等を行っている。	

	まるかの柱 2024/12/1				
自	外	項 目	自己評価	外部評価	<b>T</b>
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
II .7	ع دارج	信頼に向けた関係づくりと支援			
15		〇初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、 本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	人居削にこ家族を含め、事前の面談やこ本 人の想いや困っていることを伺う機会を持 ち、不安がなく入居できるように努めていま す。また信頼関係を構築できるようにご本人 の立場にたって関わりを持つようにしていま す。		
16		〇初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っ ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けなが ら、関係づくりに努めている	相談から入居に至るまでの間、話し合いの場を多く持ち、ご家族の立場での不安な気持ちや悩み、要望を気軽に話せるようじっくりと時間を使って少しでも不安が軽減できるようお答えしています。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の情報をご家族や利用していた施設、病院スタッフ、ケアマネージャーから詳しくお聞きし、他職種で見極めを行い、助言を行っています。		
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフ、入居者という区別なく、お互いが 困っていることに手を差し伸べられるような 環境作りに努めています。皆で協力し、家 事や買い物、得意なことを日々活かせるよ う努めています。		
19		〇本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	面会や定期的に電話、毎月の手紙を通じ、 コミュニケーションを図る機会を設けており ます。また、こまめに日々の様子を報告した り、受診時などの際は報告の連絡を行って います。		
20		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	事前に聞き取りを行い、馴染みの方との交流や関係が途切れないよう努めています。 馴染みの人、場所に行く機会を定期的に設けております。	切れしいる。	
21		〇利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	生活する中でお互いの性格や個性を尊重しながら一緒に活動しています。スタッフが間に入ることで交流が図れる方の場合は積極的に関わりが持てるよう努めています。		

ここるかり	721 <u>1</u>			2024/12/18
自外	項目	自己評価	外部評価	<b>T</b>
己部	円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円 円	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22	○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	定期的に電話連絡や毎月の手紙で関係性 が途切れることのないよう努めています。		
$\mathbf{m} \neq \mathbf{o}$	人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
23 (11)	〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	相手のペースに合わせた生活が継続してで きるよう柔軟性を持ち、その方の想いを尊	おやつの時間が、ゆっくり話しを聞く時間になっている。行きたい所や食べたい物を聞き、要望に応えている。情報共有ノートで、思いの共有を図っている。奥様と一緒にラーメンを食べに行く支援をして喜ばれた。	
24	〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	ご家族にもご協力頂きながら、バックグラウンドアセスメントを作成して頂くなど、これまでの生活習慣や生活環境の把握に努めております。		
25	〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で気づいた心身状態、変 化などを共有する申し送りノートを作成し、 スタッフ間で把握できるよう努めておりま す。		
26 (12)	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	ご本人、ご家族からの聞き取りや満足度を 伺い、その方自身のケアプラン内の目標を 達成できるようミーティング時に話し合い、 実践、改善を行っています。		
27	〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	「気づき」を申し送りノートやミーティング、 日々の職員同士の会話の中で情報共有し、 実践や改善点の把握に努めています。		
28	〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況を把握し、望むことが実現できるようすぐに対応しています。看取り期における面会なども実施しております。		

	2024/12/18					
自	外	項 目	自己評価	外部評価	<b>T</b>	
己	部	块 口	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の公園、施設など散歩しながら周辺地域の話などを行い、近隣の方とも交流の機会が持てるようにしています。			
30		○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援して いる	入居前に希望に沿ったかかりつけ医を選んでいただいています。受診時や何かあった際にはご家族にすぐに連絡ができるようにしています。	内科の訪問診療を利用している方が多い。 月2回の訪問診療の他に、時間が取れる時 に医師の訪問があり安心に繋がっている。精 神科等の受診は主治医の指示で受診してい る。通院は職員が付き添う事が多い。		
31		〇看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に 伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看 護を受けられるように支援している	週3回看護師が勤務しており、その都度、報告を行い情報を共有しております。看護師不在時もノートに記載し、後にアドバイスをもらうなどしています。			
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 また、できるだけ早期に退院できるように、病院関 係者との情報交換や相談に努めている。又は、そ うした場合に備えて病院関係者との関係づくりを 行っている。	伝えています。また入院時や退院時に病院 関係者に不安なことなどを相談し、助言をい			
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで いる	主治医と話し合う機会を設け、ご本人、ご家族の意向を確認した後に看取りの指針をお伝えし、共有を図っております。状況に応じ、地域の訪問看護ステーションと連携を図り、チームで支援しております。	女川 再度大針の疎認を行っている 宏族が		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	事業所内で急変時や事故発生時の対応に ついて勉強会を行っています。ユニットミー ティング時も振り返りを行います。			
35		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている	地域の防災訓練の参加、避難場所の把握、 事業所でも避難訓練の実施をしています。	夜間想定を含む避難訓練を年2回実施した。 誘導時に真剣になり口数が減ったり、連絡先 の電話登録が必要等の反省があった。備蓄 食品の試食で入居者の感想を得ている。近 隣住民との連携を確認する予定である。		

10.0	טינג כ	<b>/1</b> 工			2024/12/18
自	外	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	自己評価	外部評価	<b>5</b>
己	部	項 目	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
W	その	人らしい暮らしを続けるための日々の支援		3 (30 p (1))	
		○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを 損ねない言葉かけや対応をしている	想いに耳を傾け、相手を理解しながら誇り や自尊心を損ねないようお一人お一人に合 せた声掛けを行っています。	言葉遣いは敬意を持ち丁寧にするや「1ケア 1声掛け」を心掛けている。失敗時は交換用 品をトイレに準備し、そっと声掛けして誘導し ている。トイレと脱衣所が直結する扉があり 羞恥心への配慮を感じる構造である。	
37			相性も考慮しながらチームでお一人お一人 との関係性を構築し、それぞれが自己表 現、自己決定が自由にできるようスタッフ間 で連携しながら、働きかけを行っておりま す。		
38		〇日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	一人ひとりの起床や就寝時間、食べ物の好みも異なり、その方のペースに合わせた生活をしていただいています。スタッフの都合にならないように徹底しています。		
39			洋服選びなどはご本人に決めて頂いております。すずなユニットは男性が多いため、毎朝髭剃りをしております。また男性の方の中には、髭を伸ばしている方もおり、おしゃれとして髭を整えております。		
40	(17)	食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	ど、見た目や色合いなども工夫しておりま	食は法人栄養士に助言を貰い献立を立てている。行事食は希望を聞き、流しそうめんや 夏祭りの屋台風メニューを楽しんでいる。元	
41		〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に 応じた支援をしている	バランスよく食事できるように献立を作成し、食事中に感想を伺っています。水分が少ない方には代わりになるようなヨーグルトやゼリーを召し上がっていただいています。		
42			食後は必ず歯磨き、入れ歯の方は毎晩洗 浄剤を使用しています。口腔内の状態を常 に観察し、歯科受診も行っています。		

	2024/12/18					
自	外	項目	自己評価	外部評価	<u> </u>	
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容	
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	の下着をはいていただく方が多い状況です。また排泄リズムを把握しながら自尊心を	日中は殆どの方を、トイレで排泄出来るよう 支援している。夜間は睡眠を優先し、ベッド 上でパッド等を交換する方もいる。排泄パ ターンやそわそわする等の仕草を見逃さない トイレ誘導で、失敗を減らしている。		
44		〇便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	運動や水分など一人ひとりの方に応じた体調管理をしています。できる限り下剤に頼らないように日々活動にお誘いしています。			
45		〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々に応じた支援をしている	朝風呂がお好きな方の希望に沿ったり、時間などは関係なく入浴していただいています。ご本人の使い慣れたシャンプーなどを使用し、入浴を楽しんでいただいています。	週2回以上の入浴を支援している。湯温は希望を聞きながら調整している。同性介助や希望があれば毎日の入浴にも応えている。入浴剤や音楽、お喋りで楽しめる工夫をしている。		
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お部屋でゆっくり過ごしたい方など、ご本人のペースに合わせて1日を過ごして頂いています。無理なく休息できるようホールのソファーも使用しています。			
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用などスタッフ間で共有し、 服薬チェックも必ずダブルチェックを行い、 事故防止に努めています。			
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事手伝いなど好きなことや得意なことに集中できる時間を設けるなど役割や楽しみを通じ気分転換、リフレッシュをして頂けるような支援をしております。また、会話を楽しめるようにそれぞれにあった話題を提供しております。			
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	食料品や日用品などの買い物や行きたいところ、思い出の場所など入居したことで行けないということがないように、多く外出の機会を設けています。ご本人、ご家族からも大変喜ばれています。(現在は新型コロナウイルスの流行状況によって外出を制限している場合もあります)	ホーム前の交通量や坂を考慮し、青葉城址 にドライブして散歩する事が多い。青葉神社 の初詣や三神峯神社に花見に出かけた。食 材や日常品の買い物に入居者も一緒に出か けている。敷地内のベンチで、日光浴を兼ね ティータイムを楽しむ事もある。		

141	จฆง	J^L			2024/12/1
自	外	項目	自己評価	外部評価	<b>T</b>
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金庫には1人ずつポーチがあり、必要な分を 持ってご希望に応じてご使用いただくように しています。出納帳を作成し、毎月ご家族に 報告しています。		
51		〇電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	電話やZoomができるよう支援しております。		
52	(21)	〇居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間に、毎月カレンダーを考えたり、ご利用者の皆さんで作成した作品を飾るなど、生活感や季節感を取り入れています。また、植物や生き物などのお世話をすることがお好きな方がおり、ホールに水槽があり金魚を飼っております。観賞されたり、餌をあげたりすることが楽しみの一つになっております。	様省えを行うた。折り紙の季即毎の作品や 行事等の写真が飾られている。活き活きとし た表情や笑顔の写真から楽しさが伝わってく る。日課の体操や新聞を読んだり、テレビを 目れなる歌ったは、ハファで第2年11年1	
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	一人ひとりが居心地よく過ごしていただけるよう、気の合った方と近くの席で過ごしていただいたり、テレビがお好きな方は観やすい席にするなどして工夫をしています。		
54	(22)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相 談しながら、使い慣れたものや好みのものを活か して、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる	ただいています。またお部屋の清掃もご本	ベッドや洗面台、クローゼット等が備え付けてある。窓に曇りガラスシートを貼りプライバシーの配慮をしている。箪笥やテレビ等を持ち込み、家族写真やギターを飾っている。居室は寝る場所と思っている方が多い。	
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかる こと」を活かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	調理や洗濯干しなど出来ることは一緒に行い、歩行が不安定な方も安全に移動できるような環境作りを行っています。		

#### 令和 5 年度

## 1 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要(事業所記入)】

E 3 P14771 19024 ( 3						
事業所番号	0495400707					
法人名	株式会社ナラティブ					
事業所名	グループホームはるかの杜	ユニット名	:はぎ			
所在地	仙台市太白区向山二丁目13番8	号				
自己評価作成日	令和 6 年 3 月 7 日					

### ※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

http://www.kaigokensaku.jp/ 基本情報リンク先

### 【評価機関概要(評価機関記入)】

62 な支援により、安心して暮らせている

(参考項目:28)

	評価機関名	NPO法人 介護の社会化を進める一万人市民委員会宮城県民の会
	所在地	宮城県仙台市宮城野区榴岡4-2-8 テルウェル仙台ビル2階
ĺ	訪問調査日	令和 6 年 3 月 25 日

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

「らしく生きる それぞれのLIFE」を事業所目標に掲げ、お一人おひとりの想いや声を大切にし、やりた いことや希望の実現のために対話を繰り返しながら、関係性の構築に努めております。また、これまで の生活習慣や、お好きなことに着目して、ホームに入居したからできなくなったということがないように 生活の中で楽しみを感じて頂けるよう、ご本人、ご家族のご意向を大切にしております。現在は面会制 |限は解除となり、定期的に面会に来られるご家族も多くいらっしゃいます。面会以外でも定期的に電話 や毎月の手紙等でも近況の報告もさせて頂き、その中でご家族との繋がりも大切にさせて頂いておりま

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

ホームは向山の住宅地にあり、近くの向山小学校が災害時の避難場所となっている。清山会 グループに属し設立8年目を迎える。入居時に得た個々の特性に捕らわれず、一人ひとりの 特技を見つけ「その人らしくを大切」にしている。入居者と職員が出来る事を協力し合ってい る。日常生活では洗濯物畳みや食器洗いを進んで行ったり、いつの間にか歌のレクリエーショ |ンに積極的に参加する等、職員が雰囲気作りを工夫している。訪問診療の細やかな対応や訪 |問看護師の週3日の来訪が、医療や体調面の安心に繋がっている。看取り期は、家族付添い の支援を行い「よくして貰った」と感謝の言葉が寄せられている。

V.	サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します				
	項目	取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印	項目		取 り 組 み の 成 果 ↓該当するものに○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向 を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 〇 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	1. ほぼ全ての家族と
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面 がある (参考項目:18,38)	1. 毎日ある 〇 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 〇 3. たまに 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている O 3. あまり増えていない 4. 全くいない
59	利用者は、職員が支援することで身体や精神の 状態に応じて満足出来る生活を送っている。 (参考項目:36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 〇 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、やりがいと責任を持って働けている。 (参考項目:11,12)	1. ほぼ全ての職員が 〇 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者の意思を出来る限り尊重し、外出等の支援をする努力をしている。 (参考項目:49)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満 足していると思う	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、医療機関との連携や、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 〇 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1. ほぼ全ての家族等が ○ 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
	利用者は、その時々の状況や要望に応じた柔軟	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが			

2. 利用者の2/3くらいが

3. 利用者の1/3くらいが

4. ほとんどいない

0

はるかの杜

# 2.自己評価および外部評価結果(詳細)(事業所名 グループホームはるかの杜)「ユニット名 はぎ 」

自	外	項目	自己評価	外部評価	<b>5</b>
己	部	1	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ι.3	里念に	□基づく運営			
1		〇理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理 念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して 実践につなげている	所目標やユニット目標を掲げ、ミーティング や管理者との面談時、日々の勤務時に振り 返りを行っています。理念の共有や理解に	ホーム理念は継続する事とした。ユニット目標「1日1回利用者と笑う」と「One for all All for one」と決め、ホールに掲示している。	
2	,-,	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられる よう、事業所自体が地域の一員として日常的に交 流している	包括支援センターの方々とは2ヵ月に1回の 運営推進会議などを通じて交流を図っております。近隣への散歩や買い物を通じて、 地域の一員になれるよう交流できる機会を	地域の防災訓練参加やゴミ置き場の鍵を預かり、回収日の管理や清掃で地域との関わりを図っている。ホームの夏祭りに、町内会長や雀踊りのボランティアが訪れた。高校の吹奏楽定期演奏会や地域包括主催の「すずめカフェ」の案内がある。	
3		〇事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症 の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向け て活かしている	事業所の様子を定期的に町内会長さんや 地域包括にお伝えする中で、認知症の人の 理解や支援方法をお伝えしております。		
4		○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、 評価への取り組み状況等について報告や話し合 いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かし ている	2ヵ月に1回の運営推進会議にて町内会長さんや包括支援センターへ電話にて事業所の様子をお伝えしております。		
5	(4)	〇市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所 の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝 えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	適宜、事業所の様子や活動を包括支援セン ターにお伝えしております。必要時は協力	介護保険の区分変更や事故報告、生活保護 の方の状況報告等で連絡を取っている。研 修等の案内がファックスで届く。地域包括発 行の「包括便り」が届き、活動内容の把握に 役立っている。	
6		〇身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サー ビス指定基準及び指定地域密着型介護予防サー ビス指定基準における禁止の対象となる具体的 な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含め て身体拘束をしないケアに取り組んでいる	事業所での勉強会に身体拘束をしないための勉強会を行っています。また、安易に施 錠をしないようにドアチャイムを設置するな どの工夫を行っています。	3ヵ月毎に「身体拘束廃止委員会」を開催し、 職員から提出されたグレーゾーンカードの集 計を行っている。原因や対策を話し合い、 個々に合った声掛けやケアの共有に努めて いる。オンライン研修を利用し、個々にレポー ト提出に取り組んでいる。	
7	(6)	〇虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について 学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での 虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、 防止に努めている	行っています。また、虐待まではいかない 「不適切ケア」についても振り返りの機会を 設けるなど、法人の取り組みを事業所の勉	言葉遣いで、スピーチロックや強い口調にならないように気を付けている。管理者やリーダーは、普段からコミュニケーションを大切にし、悩みや困った事などが話しやすい雰囲気作りを心掛けている。	

ほる	はるかの社 2024/12/18							
自	外	項目	自己評価	外部評価	<b>T</b>			
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容			
8		〇権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年 後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要 性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支 援している	事業所内の勉強会にて成年後見制度について学ぶ機会を設けています。					
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者 や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を 行い理解・納得を図っている	入居前に契約内容、重要事項を一緒に読み合わせし、その都度出た疑問に答え、不安なく入居していただいています。また、説明後にも疑問や不安に応えるようにしています。					
10		〇運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営 に反映させている	来所時に入居者の日々の様子をお伝えするとともに、ご要望やご意見を伺う機会を設けており、いただいたご意見に対しては、スタッフ皆で改善したり、共有を図っています。また玄関に意見箱を設置し、いつでも投書できるようになっています。	室担当者を中心に行って、話しやすい関係 構築に努めている。家族が高齢で来訪出来 ない方の自宅に出向き、今後の通院の話し 合いを行った事もある。				
11	(8)	〇運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や 提案を聞く機会を設け、反映させている	年に2回個人面談を実施しています。また法人全体で実施するメンタルヘルスアンケートや仕事と職場のアンケートを通じて、なかなか言えない意見や希望を拾い上げる機会を設けています。	り、息見や個みを聞いている。資格取得は、意向調査を行い法人で費用負担等の支援を				
12		〇就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤 務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがい など、各自が向上心を持って働けるよう職場環 境・条件の整備に努めている	チャレンジ制度を法人として設け、自ら取り 組んでいける仕組みがあります。また、職場 のアンケートを通じてスタッフの意見を反映 できるように努めています。					
13		〇職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実 際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会 の確保や、働きながらトレーニングしていくことを 進めている	法人内の研修への参加や法人外の研修に関しては、スタッフの希望、能力に応じて自由に参加できるようにしています。また1年目、2年目とフォローアップ研修があり、スタッフからの意見を聞く機会もあります。					
14	(9)	〇同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機 会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問 等の活動を通じて、サービスの質を向上させてい く取り組みをしている	加し、同業者やそれ以外の職種の方の意見を聞く機会があります。また内部研修を通	清山会グループの研修に参加し情報交換を行っている。認知症リーダー研修の学びは、ホームのケース検討会議に役立っている。 薬剤師に服薬の相談をして、飲み込みにくい薬を粉砕して貰う等を行っている。				

_	טינו כ	<b>/</b> 作工			2024/12/18
自	外	項 目	自己評価	外部評価	<b>T</b>
己	部	垻 日	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
π =	3.0°. L	信頼に向けた関係づくりと支援	3000 PV//C		>(0) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1
15		日初に関いた関係プラインスを ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、 本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	ち、不安がなく入居できるように努めていま		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っ ていること、不安なこと、要望等に耳を傾けなが ら、関係づくりに努めている	相談から入居に至るまでの間、話し合いの場を多く持ち、ご家族の立場での不安な気持ちや悩み、要望を気軽に話せるようじっくりと時間を使って少しでも不安が軽減できるようお答えしています。		
17		〇初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等 が「その時」まず必要としている支援を見極め、他 のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前の情報をご家族や利用していた施設、病院スタッフ、ケアマネージャーから詳しくお聞きし、他職種で見極めを行い、助言を行っています。		
18		〇本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、 暮らしを共にする者同士の関係を築いている	スタッフ、入居者という区別なく、お互いが 困っていることに手を差し伸べられるような 環境作りに努めています。皆で協力し、家 事や買い物、得意なことを日々活かせるよ う努めています。		
19		〇本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、 本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支 えていく関係を築いている	面会や定期的に電話、毎月の手紙などを通じ、コミュニケーションを図る機会を設けております。また、こまめに日々の様子を報告したり、受診時などの際は報告の連絡を行っています。		
20	, ,	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場 所との関係が途切れないよう、支援に努めている	事前に聞き取りを行い、馴染みの方との交流や関係が途切れないよう努めています。 馴染みの人、場所に行く機会を定期的に設けております。	面会は、サークル仲間や海外在住の家族も 訪れている。家族と墓参りや観光を楽しむ方 もいる。仕事で通っていた地域にドライブする 事もある。訪問理美容師やドライブで良く行く 青葉城跡は新しい馴染みとなっている。	
21		〇利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような 支援に努めている	生活する中でお互いの性格や個性を尊重しながら一緒に活動しています。スタッフが間に入ることで交流が図れる方の場合は積極的に関わりが持てるよう努めています。		

ほる	はるかの社 2024/12/18							
自	外	項目	自己評価	外部評価	<b>T</b>			
己	部	円 日	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容			
22		〇関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関 係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族 の経過をフォローし、相談や支援に努めている	定期的に電話連絡するなど関係性が途切れることのないよう努めています。					
Ш	その	人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント						
		〇思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握 に努めている。困難な場合は、本人本位に検討し ている	相手のペースに合わせた生活が継続してで きるよう柔軟性を持ち、その方の想いを尊	おやつの時間が、ゆっくり話しを聞く時間になっている。行きたい所や食べたい物を聞き、要望に応えている。情報共有ノートで、思いの共有を図っている。奥様と一緒にラーメンを食べに行く支援をして喜ばれた。				
24		〇これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に 努めている	ご家族にもご協力頂きながら、バックグラウンドアセスメントを作成して頂くなど、これまでの生活習慣や生活環境の把握に努めております。					
25		〇暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する 力等の現状の把握に努めている	日々の関わりの中で気づいた心身状態、変 化などを共有する申し送りノートを作成し、 スタッフ間で把握できるよう努めておりま す。					
26	(12)	〇チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方 について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、 それぞれの意見やアイディアを反映し、現状に即 した介護計画を作成している	ご本人、ご家族からの聞き取りや満足度を 伺い、その方自身のケアプラン内の目標を 達成できるようミーティング時に話し合い、 実践、改善を行っています。					
27		〇個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を 個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら 実践や介護計画の見直しに活かしている	「気づき」を申し送りノートやミーティング、 日々の職員同士の会話の中で情報共有し、 実践や改善点の把握に努めています。					
28		〇一人ひとりを支えるための事業所の多機能化本人や家族の状況、その時々に生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人やご家族の状況を把握し、望むことが実現できるようすぐに対応しています。看取り期における面会なども実施しております。					

	は合かの柱 2024/12/18						
自	外	項 目	自己評価	外部評価	<u>t</u>		
己	部	块 口 	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容		
29		〇地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握 し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな 暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣の公園、施設など散歩しながら周辺地域の話などを行い、近隣の方とも交流の機会が持てるようにしています。				
30		○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納 得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築 きながら、適切な医療を受けられるように支援して いる	入居前に希望に沿ったかかりつけ医を選んでいただいています。受診時や何かあった際にはご家族にすぐに連絡ができるようにしています。	内科の訪問診療を利用している方が多い。 月2回の訪問診療の他に、時間が取れる時 に医師の訪問があり安心に繋がっている。精 神科等の受診は主治医の指示で受診してい る。通院は職員が付き添う事が多い。			
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や 気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に 伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看 護を受けられるように支援している	週3回看護師が勤務しており、その都度、報告を行い情報を共有しております。看護師不在時もノートに記載し、後にアドバイスをもらうなどしています。				
32		〇入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、 また、できるだけ早期に退院できるように、病院関 係者との情報交換や相談に努めている。又は、そ うした場合に備えて病院関係者との関係づくりを 行っている。	伝えています。また入院時や退院時に病院 関係者に不安なことなどを相談し、助言をい				
33		○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い 段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所 でできることを十分に説明しながら方針を共有し、 地域の関係者と共にチームで支援に取り組んで いる	主治医と話し合う機会を設け、ご本人、ご家族の意向を確認した後に看取りの指針をお伝えし、共有を図っております。状況に応じ、地域の訪問看護ステーションと連携を図り、チームで支援しております。	なけ 再度大針の確認を行っている 宏族が			
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職 員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行 い、実践力を身に付けている	事業所内で急変時や事故発生時の対応に ついて勉強会を行っています。ユニットミー ティング時も振り返りを行います。				
35		〇災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず 利用者が避難できる方法を全職員が身につける とともに、地域との協力体制を築いている	地域の防災訓練の参加、避難場所の把握、 事業所でも避難訓練の実施をしています。	夜間想定を含む避難訓練を年2回実施した。 誘導時に真剣になり口数が減ったり、連絡先 の電話登録が必要等の反省があった。備蓄 食品の試食で入居者の感想を得ている。近 隣住民との連携を確認する予定である。			

		まるかの柱 2024/12/18						
で、その人としい第5世を採付るための日々の交換	自	外	古 <sub>日</sub>	自己評価	外部評価	<b>T</b>		
W	己	部	<b>切 口</b>	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容		
38	TV -	その	人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
- 人ひとりの人格を専重し、誇りやブライバシーを 撥ねない言葉かけや対応をしている								
### おない言葉かけや対応をしている や自事がと操わないようお一人だっ 日本とイレに準備し、そっと声掛けして誘導している。 「いら、イルと扱系所が直轄する課があり 蓋恥への配慮を感じる構造である。 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている お自己決定が自由にできるようスタッフ間で連携しながら、働きかけを行っております。			一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを	  想いに耳を傾け、相手を理解しながら誇り	1 声掛け」を心掛けている。失敗時は交換用			
### 10			損ねない言葉かけや対応をしている	や自尊心を損ねないようお一人お一人に合	品をトイレに準備し、そっと声掛けして誘導し			
37								
日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定が自由にできるようスタッフ間 で連携しながら、働きかけを行っております。					羞恥心への配慮を感じる構造である。			
自己決定できるように働きかけている	37							
で連携しながら、働きかけを行っております。								
す。  O 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりの起床や就寝時間、食べ物の好 みも異なり、その方のペースに合わせた生 活をしていただいています。スタッフの都合 にならないように徹底しています。 での人らしい身だしなみやおしゃれができるように 実護している  O 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 実前に伺い、おしゃれができるようにしています。また月1回散髪やネイルケアを行って います。また月1回散髪やネイルケアを行って います。また月1回散髪やネイルケアを行って います。は法人栄養士に助言を買い献立を立てて います。の方の好みを伺いながら献立を作成して はまた、発養土に助言を買い献立を立てて います。  をの方の好みを伺いながら献立を作成して います。おりの関係なくお手伝いしていただいています。 関係なくお手伝いしていただいています。  の栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に 応じた支援をしている  の 「グランスよく食事できるように献立を作成して 企業中に思想を伺っています。水分が 少ない方には代わりになるようなヨーグルト やゼリーを召し上がっていたたいています。  を教しの中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの印度状態や本人の力に応じた口腔ケ 冷剤を使用しています。口腔内の状態を常			目己决定できるように働きかけている					
38								
職員側の決まりや都合を優先するのではなく。 人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している       一人ひとりの起床や就寝時間、食べ物の好 みや鬼なり、その方のペースに合わせた生 活をしていただいています。スタッフの都合 にならないように徹底しています。         40 (17) (17) (17) (17) (17) (18) (18) (18) (18) (18) (18) (18) (18				9 。				
入ひとりのペースを大切にし、その日をどのように 過ごしたいか、希望にそって支援している	38			  一人ひとりの起床や就寝時間、食べ物の好				
過ごしたいか、希望にそって支援している				みも異なり、その方のペースに合わせた生				
19				活をしていただいています。スタッフの都合				
<ul> <li>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している</li> <li>40 (17) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている</li> <li>41 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養パランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</li> <li>41 ○中華内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ 冷剤を使用しています。 力をはいったが、たいています。</li> <li>42 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ 冷剤を使用しています。口腔内の状態を常 冷冽を使用しています。口腔内の状態を常</li> </ul>				にならないように徹底しています。				
<ul> <li>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように 支援している</li> <li>40 (17) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている</li> <li>41 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養パランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</li> <li>41 ○中華内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ 冷剤を使用しています。 力をはいったが、たいています。</li> <li>42 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ 冷剤を使用しています。口腔内の状態を常 冷冽を使用しています。口腔内の状態を常</li> </ul>	30		  ○身だ  かみやお  ゃれの支援					
支援している	0.9							
ます。また月1回散髪やネイルケアを行っています。  40 (17) 〇食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている  41 〇栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている  42 〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ 浄剤を使用しています。口腔内の状態を常			支援している					
40 (17) ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好 みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準 備や食事、片付けをしている  41 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている  (2) ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ  (3) ○クスとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ  (4) (17) ○食事を楽しむことのできる支援 その方の好みを伺いながら献立を作成して はます。食事の準備、片付けも男性、女性 関係なくお手伝いしていただいています。 (4) ○○検養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている  (5) ○○体内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ  (5) (4) (4) (5) (5) (6) (6) (6) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7) (7								
食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みを伺いながら献立を作成して かや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている 関係なくお手伝いしていただいています。 41 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 症保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている になる。 ファラコ酸人のでいる。 元 カコ酸人が握る寿司が人気である。 マランスよく食事できるように献立を作成し、食事中に感想を伺っています。水分が 少ない方には代わりになるようなヨーグルト やゼリーを召し上がっていただいています。 42 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケークルといる。 ファラコ酸と関係なくお手伝いしていただいています。 水分が 少ない方には代わりになるようなヨーグルト やゼリーを召し上がっていただいています。 食後は必ず歯磨き、入れ歯の方は毎晩洗 浄剤を使用しています。口腔内の状態を常				います。				
食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みを伺いながら献立を作成している。行事食は法人栄養士に助言を貰い献立を立てています。食事、片付けをしている。	40	(17)			昼食と夕食は配食業者を利用している。朝			
<ul> <li>備や食事、片付けをしている</li> <li>関係なくお手伝いしていただいています。</li> <li>夏祭りの屋台風メニューを楽しんでいる。元寿司職人が握る寿司が人気である。</li> <li>○栄養摂取や水分確保の支援食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</li> <li>(1) (食事中に感想を伺っています。水分が少ない方には代わりになるようなヨーグルトやゼリーを召し上がっていただいています。</li> <li>(2) 〇口腔内の清潔保持口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケークの大態を常常を表し、の力に応じた口腔ケークの大態を常常の大きないます。口腔内の状態を常常の大きないます。口腔内の状態を常常の大きないます。口腔内の状態を常常の大きないます。口腔内の状態を常常の大きないます。</li> </ul>				その方の好みを伺いながら献立を作成して	食は法人栄養士に助言を貰い献立を立てて			
日本			みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準	います。食事の準備、片付けも男性、女性	いる。行事食は希望を聞き、流しそうめんや			
41   ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態やカ、習慣に 応じた支援をしている			備や食事、片付けをしている	関係なくお手伝いしていただいています。				
食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて 確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に 応じた支援をしている  〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ  食後は必ず歯磨き、入れ歯の方は毎晩洗 浄剤を使用しています。口腔内の状態を常					寿司職人が握る寿司が人気である。 			
は、食事中に感想を伺っています。水分が 少ない方には代わりになるようなヨーグルト やゼリーを召し上がっていただいています。 42 〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケーを発しています。口腔内の状態を常	41			バランフト/合車できるトネに献立た佐成				
「はは、ところよう、人のとりの状態で力、自慎に								
やゼリーを召し上がっていただいています。  42 〇口腔内の清潔保持								
42 〇口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケー 浄剤を使用しています。口腔内の状態を常			心した文援をしている 					
口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一 人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ 浄剤を使用しています。口腔内の状態を常				. 17 210210 707 707 60 60 707 8				
人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケ   浄剤を使用しています。口腔内の状態を常	42							
1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1								
「アをしている   に観察し、圏科受診も行っています。								
			/ としている 	I〜観祭し、圏科党診も行つています。 				

ほる	はるかの杜 2024/12/18						
自	外		自己評価	外部評価	Ti		
己	部	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容		
43		〇排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり の力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレで の排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	の下着をはいていただく方が多い状況です。また排泄リズムを把握しながら自尊心を	日中は殆どの方を、トイレで排泄出来るよう 支援している。夜間は睡眠を優先し、ベッド 上でパッド等を交換する方もいる。排泄パ ターンやそわそわする等の仕草を見逃さない トイレ誘導で、失敗を減らしている。			
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工 夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に 取り組んでいる	運動や水分など一人ひとりの方に応じた体調管理をしています。できる限り下剤に頼らないように日々活動にお誘いしています。				
45		〇入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を 楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決 めてしまわずに、個々に応じた支援をしている	朝風呂がお好きな方の希望に沿ったり、時間などは関係なく入浴していただいています。ご本人の使い慣れたシャンプーなどを使用し、入浴を楽しんでいただいています。	週2回以上の入浴を支援している。湯温は希望を聞きながら調整している。同性介助や希望があれば毎日の入浴にも応えている。入浴剤や音楽、お喋りで楽しめる工夫をしている。			
46		〇安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お部屋でゆっくり過ごしたい方など、ご本人のペースに合わせて1日を過ごして頂いています。無理なく休息できるようホールのソファーも使用しています。				
47		〇服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用 法や用量について理解しており、服薬の支援と症 状の変化の確認に努めている	薬の目的や副作用などスタッフ間で共有し、 服薬チェックも必ずダブルチェックを行い、 事故防止に努めています。				
48		〇役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一 人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、 楽しみごと、気分転換等の支援をしている	家事手伝いなど好きなことや得意なことに 集中できる時間を設けるなど役割や楽しみ を通じ気分転換、リフレッシュをして頂けるよ うな支援をしております。また、会話を楽し めるようにそれぞれにあった話題を提供して おります。				
49		〇日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出か けられるよう支援に努めている。また、普段は行 けないような場所でも、本人の希望を把握し、家 族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう に支援している	食料品や日用品などの買い物や行きたいところ、思い出の場所など入居したことで行けないということがないように、多く外出の機会を設けています。ご本人、ご家族からも大変喜ばれています。	の初詣や三神峯神社に花見に出かけた。食はかり常日の買い物にる民妻も一緒に出か			

141	はるかの4I 2024/ 12/ 18							
自	外	項目	自己評価	外部評価	<b>T</b>			
己	部		実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容			
50		〇お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望やカに応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金庫には1人ずつポーチがあり、必要な分を 持ってご希望に応じてご使用いただくように しています。出納帳を作成し、毎月ご家族に 報告しています。					
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙 のやり取りができるように支援をしている	ご本人、ご家族のご意向がある際は都度、 電話やZoomができるよう支援しておりま す。					
52	(21)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間に、毎月カレンダーを考えたり、一緒に写った写真を飾ったり、皆で作成した作品を飾るなど、生活感や季節感ををとりいれています。					
53		〇共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利 用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の 工夫をしている	一人ひとりが居心地よく過ごしていただけるよう、気の合った方と近くの席で過ごしていただいたり、テレビがお好きな方は観やすい席にするなどして工夫をしています。					
54	(22)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相 談しながら、使い慣れたものや好みのものを活か して、本人が居心地よく過ごせるような工夫をして いる	ただいています。またお部屋の清掃もご本	ベッドや洗面台、クローゼット等が備え付けてある。窓に曇りガラスシートを貼りプライバシーの配慮をしている。箪笥やテレビ等を持ち込み、家族写真やギターを飾っている。居室は寝る場所と思っている方が多い。				
55		〇一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかる こと」を活かして、安全かつできるだけ自立した生 活が送れるように工夫している	調理や洗濯干しなど出来ることは一緒に行い、歩行が不安定な方も安全に移動できるような環境作りを行っています。					